

『業務代行組合区画整理講習会』開催の報告

～業務代行方式の実態を知り、活用を図る～

2月26日(金)、当機構会議室において業務代行組合区画整理講習会を開催致しました。当日は北陸から九州まで、組合関係者、コンサルタント・ゼネコン等の民間事業者、市町村・公益法人等、業務代行方式に関心を持つ36名の方々が参加し、約3時間半に亘り熱心に学習されました。

業務代行の現状と本来あるべき姿を正しく理解して頂くことにより、事業環境の厳しい時期ではありますが今後さらに同方式による区画整理事業が促進され、組合と民間事業者のパートナーシップによるまちづくり地区が全国で増えていくことを期待するものです。

《講習内容》

プログラム	講師
1部 業務代行方式の基礎知識	財区画整理促進機構 支援業務部長 鈴木雅雄
2部 業務代行者の視点から －業務代行の現状分析と課題－	清水建設㈱ 営業部長 小又啓攝氏
3部 事例紹介（三つの事例地区） －さまざまな業務代行の取組み－	安藤建設㈱ 都市開発本部 部長 高田義夫氏
4部 業務代行方式の活用に向けて	財区画整理促進機構 支援業務部長 鈴木雅雄



【講習会風景】

平成22年2月18日(木)～19日(金)「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第6回勉強会」が豊田市で開催されました。今回の勉強会には、34社、74名(事務局等含)の方々にご参加いただきました。

第1日目は、豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業で整備した、コモ・スクエア内のホテルトヨタキャッスルにて勉強会が行われました。

はじめに鈴木会長(豊田まちづくり(株))から開会のご挨拶、次に、開催地を代表し鈴木市長より、さらに来賓として、国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課多田企画専門官より、ご挨拶を頂きました。

次に、「官民連携による豊田市中心市街地活性化の取り組み、及び豊田まちづくり(株)の事業紹介」と題し、豊田まちづくり(株)河木取締役(豊田商工会議所副会頭)と豊田まちづくり(株)深津取締役からご説明を頂きました。

その後、前例ですとテーマを決め各分科会に分かれ会員同士の意見及び情報交換を行います。今回は、「中心市街地の活性化のための支援制度」の紹介ということで、「国土交通省の支援制度」「経済産業省の支援制度」「中小企業基盤整備機構の支援制度」「地域総合整備財団(ふるさと財団)の支援制度」「事務局4機関^{※1}の支援制度」を行いました。

最後に、「『平成22年度からの全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の運営に関するアンケート』の結果報告及び今後の連絡会議の運営についての意見交換」として、会長会社の豊田まちづくり(株)杉本執行役員よりご説明がありました。

第2日目は、豊田市から「豊田市のまちづくりの取り組みについて-ITS^{※2}を活用した交通まちづくりハイブリットシティとよた-」と題しご説明があり、その後、「再開発コース」「交通まちづくりコース」と二班に分かれて現地視察を行いました。

次回は、平成22年5月中旬に東京にて総会が開催される予定です。

※1：4機関とは、UR都市機構、民間都市開発推進機構、全国市街地再開発協会、当機構

※2：ITS(Intelligent Transport Systems)とは、最先端“IT”を使って、通勤や買物、観光などの「移動(=交通)」をより快適により安全にしようとするもの。ETCやカーナビゲーションもITSの一つ。



【ホテルトヨタキャッスルの会場風景】



【豊田市説明風景】

『国土交通省との意見交換会』実施報告

平成22年3月4日(木)10:00-12:00、当機構会議室において、国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課と(財)区画整理促進機構民間事業者研究会との意見交換会が開催されました。市街地整備課からは望月課長を始め4名、民間事業者研究会からは6社6名が出席され、「平成22年度国土交通省関係予算のポイント、平成22年度都市・地域整備局関係予算概要」と「民間事業者研究会 平成21年度活動(中間報告)」について説明・報告が行われました。

その後は意見交換に移り、以下の項目等についての議論が行われました。

- ・国土交通省の成長戦略
- ・社会資本整備総合交付金(仮称)(効果促進事業の活用、事後評価の方法等)
- ・停滞地区の対策
- ・新市街地型開発抑制における新駅周辺等区画整理の取り扱い
- ・柔らかい区画整理の促進
 - 区画整理土地評価における収益還元的な評価の検討
 - 事業短縮化にかかる補助金執行システムの改善の可能性
 - 施行地区にかかる区域どりの工夫
 - 保留地ではなく負担金方式の選択
 - 安上がりの事業指向(自主除却による建物移転=補償費カット)
 - 建物共同化や再開発事業と区画整理事業の組み合わせによるプロジェクトの推進



【意見交換会風景】

平成22年度街なか再生NPO等助成金公募のお知らせ

当機構(街なか再生全国支援センター)では、中心市街地活性化に関する様々な課題に取り組んでいるNPO、まちづくり会社等に助成を行います。

また、区画整理関係団体を対象とし、土地区画整理事業の初動期に活動する団体や土地区画整理事業完了後の街の維持活動、エリアマネジメント等を行う団体に対しても助成を行います。

今回の助成額は、1件あたり100万円を限度として、公募期間を平成22年2月1日(月)～3月31日(水)とします。詳細につきましては、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.sokusin.or.jp/machinaka/npo/npo.html>

問合せ先 (財)区画整理促進機構 街なか再生NPO等助成金担当 小塚
TEL:03-3230-8477 FAX:03-3230-4514

民間研企画講演会『周辺と連携した団地再生による魅力アップ』開催報告

～「井の中の蛙」が「鷹の目」になったら魅力アップ！～

平成22年2月24日(水)14:00-15:20、当機構会議室において、民間事業者研究会が企画した講演会が開催されました。独立行政法人 都市再生機構 埼玉地域支社 都市再生業務部 業務推進チーム(兼務)密集市街地整備チーム(兼務)基盤整備チームの久野 暢彦講師による、「周辺と連携した 団地再生による魅力アップ」というテーマで講演会が開催されました。民間事業者研究会から8社9名の方々に参加されました。

これまでの一般的な団地再生から、周辺にも視野を広げ、周辺の付加価値を高めることによって、実は団地自体の魅力をより一層アップさせ周辺のまちづくりへどのように寄与することができるという趣旨で、①これまでの埼玉支社の取組み、②連携によって魅力アップした要因、③今後のまちづくりの方向性、駅前再生と連携した団地再生の検討、まとめ、④関係者の連携と協働、について説明がありました。

その後、質疑応答に移りました。団地と公有地との土地の入れ替えの事例や方法について、団地リニューアルの行程・時間軸について、代替地の事例や所有形態について、など質問があがり議論・意見交換が行われました。



【講演会風景】

『区画整理年報』販売のご案内

平成21年度版区画整理年報を販売しております。なお平成21年度版はCD-ROMのみの販売となり、定価5,250円(税込み)、送料は無料です。ご活用ください。

- 【内 容】 統計図表、1970年度以降に認可公告した全事業のデータ(施行期間、事業面積、減歩率、事業種別等48項目を網羅)が掲載されております。
監修:国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課
発行:(財)区画整理促進機構
- 【購入方法】 下記のホームページより図書購入申込書を印刷して、FAXにてお申込みください
http://www.sokusin.or.jp/book/b_index.html
- 【問合せ・申込み先】(財)区画整理促進機構 総務部
TEL:03-3230-4513 FAX:03-3230-4514